

# 道芝



みちしば

第70号

令和5年3月15日

水戸市青少年育成推進会議

会長 坏 哲男

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内

水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692

「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、

子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」

水戸市役所HP▶  
(水戸市青少年育成推進会議)



## 青少年若者体験活動事業

小学生32名が水戸市少年自然の家で遊びを通してコミュニケーションを深めました。

(2ページに続く)



▲風船をうちわにのせて落とさないように運ぶリレーで白熱

◀大人の集まりでもよく行われるようになったアイスブレイクで、お互いの共通点探し。子どもはアイスブレイクでも真剣そのものでした

## 中学生交流会

中学生交流会の今回のテーマは「学校の校則について」。トレンド感のあるテーマですが、他校の校則との違いを知って驚くことから始まった点が意外でした。円形の段ボール「えんたくん」を使い、思いついたことをどんどん書き込むスタイルは、新しい経験だったかも知れません。

(3ページに続く)



# わくわくドキドキみんなであそぼ！

## 青少年若者体験活動事業

とき／令和4年10月23日(日)  
 ところ／水戸市少年自然の家

本事業は、子どもたちが同じ目標に向かってグループで体験活動をし、課題を解決していく中で、経験を通して自己肯定感やコミュニケーション能力を向上させることを目的に実施しています。

今年度は小学校4年生から6年生32名が参加し、楽しく過ごしました。

### \*アイスブレイク

初対面の子どもたちが打ち解けるために、お互いの共通点探しを行いました。「みんなゲームが好き」「全員マスクをしている」など話し合う中でだんだんと笑顔がこぼれてきました。



### \*レクリエーション

ロープを使ったレクリエーションや、風船運びリレーなど、頭も体も使ったゲームを楽しみました。

### \*みんなで昼食

食堂でみんなで昼食をとりました。準備や片付け、黙食などしっかりとルールを守った行動ができていました。

### \*フォトラリー

外に出て、グループごとに問題用紙を見ながら指定の場所に向かい、解答としての写真を撮ってきました。終わる頃にはすっかり仲良くなり、離れがたい様子でした。

## 青少年指導者研修会

第1回 講演会「これからの社会における地域の役割」

講師・茨城大学教育学研究科教授 生越 達(おごせ とおる)氏

とき／令和4年7月27日(水) ところ／水戸市役所会議室

地域の大人はどうあるべきか、何をすればよいのか、をテーマに企画した講演会です。「成長の過程で揺らぐ子どもを無条件に受け入れる役割を果たせるのは地域ではないか」というお話は、「具体的にどうすればよいのか、むしろ皆さんの方がヒントをお持ちではないですか」と結ばれて終わりました。



## 「これからの社会における地域の役割」

人間は、何かができるから価値があるのではなく、誰にも生きる価値があるはず。子どもには「あなたはあなたでいいんだよ」と言ってくれる大人が必要。

学校のように管理せず、優秀であれという圧力をかけることをせず、家庭のように濃密ではない、向き合うのでも並ぶのでもない、「斜めの関係」が持てる「余裕のある他者」としての地域。

子ども同士の対話やぶつかり合いのできる場を提供する。時に、家庭内で孤立している子どもを見守る。

「つながりたい」「でも、怖い」「傷つきたくない」「勉強する意味がわからない」「他人は信用できない」「自分の声が他人に届いていない気がする」と感じている子どもに、人とのつながりを回復させる役割。

テーマ  
「学校の校則について」

自由と規律の両立について考える

とき／令和4年12月18日(日) ところ／水戸市役所会議室

今年「学校の校則について」自由と規律の両立について考えるをテーマに市内の中学生18名が一堂に会し熱い議論を繰り広げました。

開会式後、まずはアイスブレイク。水戸市サプリーダーである高校生3名の主導で2種類のゲームを全員で行いました。頭や体を使うゲームによって、初めて顔を合わせた者同士の距離感が縮まり、室内の空気が一気に和んだように感じました。

続いてグループディスカッション。5つの班に分かれてスタート。それぞれが他校との校則の違いを目の当たりにして驚いたり、羨んだり、身近で関心の高いテーマだけに開始早々より活発な発言が展開されていました。自由な校則を求めるばかりではなく、より厳格な規律や校則の明文化を求める意見など、議論は幅広くかつ深掘りがなされていました。

サプリーダーによる高校生活の実話を盛り込んだ校則論の発表にも参加者は興味深い様子で耳を傾けていました。参加生徒へのインタビューでは、「他校の校則を聞くことができ意義があった。自校に持ち帰り、見直し論議を加速させたい」等の声が多く聞かれました。

学校ごとに校則は差異があり、中学

と高校でも異なります。「校則は誰のためにあるのか」。水戸市総合教育研究所春原孝政所長からの総評でもあった言葉でしたが、改めて皆で議論を進めなければならぬことです。

自由闊達な意見の応酬により中学生全員が楽しく有意義な一日を過ごせたことと思います。発表後の全員の笑顔がとても素敵でした。

これが終わりではなく、ここから取り組みの始まりであるという思いの中で解散となりました。



第2回 テーマ「これからの学校と地区育成会の連携について」

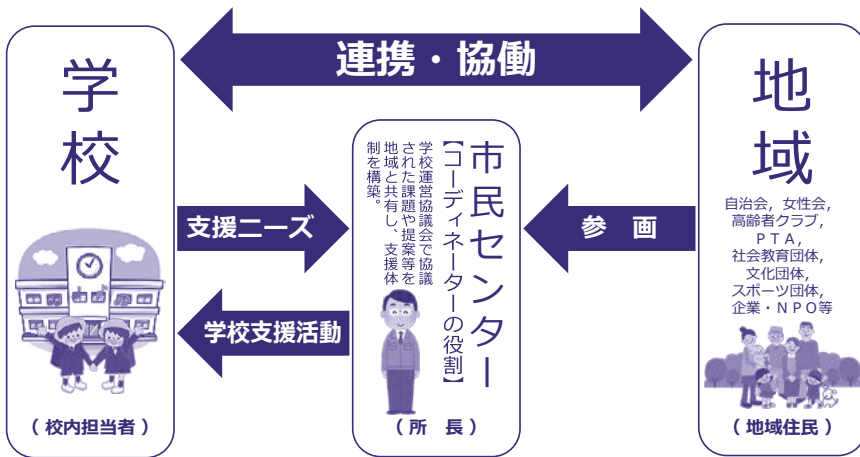
とき／令和4年11月2日(水) ところ／水戸市役所会議室

「地域学校協働活動の推進に向けて」という内容で、水戸市生涯学習課社会教育主事 石井浩司氏の講演を聞いて理解を深めました。その上で、学校と地域の連携に関し、市内16の中学校区の青少年育成会、16の中学校、33の小学校に現在の連携の状況や今後の要望についてのアンケートをお願いしたデータを見ながら、参加者がグループ討論を行いました。

グループ討論での意見

- 地域と学校との関係は、平等で、双方にとってメリットのあるものが望ましい
- 40、50歳代の年齢層が地域活動に留まるような組織が必要である
- 学校はなかなか「ヘルプ」を言わないが、学校運営協議会を出してもらいたい
- 核となるべきは子どもの考え。それを把握する場を設け、そこから大人が考え、動く体制をつくりたい
- 今後市民センターがコーディネーターの役割を担うとのことだが難役であり、所長の研修が重要になる
- 今、コロナで大人だけの活動になっているものが多い。これから子どもを交えて活動できるようにしたら、地域と学校の連携を実現したい

水戸市版地域学校協働活動



\*本年度は、双葉台中学校区でモデル事業を実施しています。

## 社会環境向上研修会

とき／令和4年12月17日(土)

ところ／水戸市役所会議室

講師

### 「子どもたちの育ちを支える地域の役割と地域づくり」

### 「子どもの力と子どもに手渡す力」

茨城県生涯学習・  
社会教育研究会 会長  
長谷川 幸介 氏

子どもたちが成長していく中で、どのように地域が支え関わっていくべきかについて学び、青少年の育成に関わる地域の大人一人ひとりが、これからの青少年の健全育成について深く考え、学びあっていく機会を設けることを目的として開催いたしました。

### 子どもは「冒険の旅」を歩き続ける

他の哺乳類は生後間もなく歩き



き始めますが、人間はほぼ一年を要します。未熟だから親のみならず「大人の世話」が不可欠です。「子育て+子育て支援」は人類が繁栄のために選んだ生存戦略なのです。

犬は生まれた時と成犬の脳はほとんど変わりませんが、人間は生後1年間で脳のシナプスが飛躍的に形成されます。その後成長につれて、必要なシナプスは強められて残り、不要なシナプスは弱められ除去されます。

この「シナプス刈り込み」はとても大切で、種々の体験をすることで行われていきます。

「冒険の旅」は「水先案内人」の力を借りながら「分からないことばかりの毎日」を過ごし体験することにより人間形成されるとしても大切な時期です。

「三角形の鳥居」をくぐりながら「幸せ力」を手に入れる

「三角形の鳥居」とは「学校」「地域」「家庭」の繋がりで、日々くぐり続けながら「学力」「社会力」「自己肯定力」の3つの

力を得て、「幸せ力」をつけることが幸せな暮らしをもたらします。しかし、「学力」が比べる物差しになったり、「地域」が希薄化したりと子どもたちにとって難しい環境になっていきます。

### 地域社会が手渡す「社会力」とは

家庭や学校以外にも子どもたちの居場所が必要です。地域は多様な価値観や支え合いを教えてくれ、社会と繋がる力をつけてくれます。

社会には多種多様な物差しがあり、いいことも悪いこともごちゃ混ぜにあります。年齢も価値観も多様な中で、自分なりの価値観を持ち、価値を生み出す力を身近な地域社会から与えられたら、今後次世代に生きる子どもたちにとって大きな力となると思います。

地域社会と繋がる身近な手段はあいさつです。今後も日々皆があいさつを交わせる日常であることが望ましいのです。

## プログラミング体験会

令和4年12月24日(土)茨城県立青少年会館にて、茨城県青少年育成協会主催の「作って遊ぼうプログラミング」というイベントが行われました。

このイベントは、茨城県立青少年会館の「令和4年度子ども・若者アシストi(アイ)事業」として行われています。

この事業では、児童が地域で学ぶ楽しさや教え合う喜びを体験することを目的に、地域のマップを活用した様々な学習の機会が提供されています。

当日は多くの子どもたちが参加しプログラミングに挑戦していました。

学校でプログラミング授業も始まっているためか、慣れている参加者はほとんどプログラミングができていきます。



完成したゲームは改造を行い、周りの参加者に見せたり、周りの参加者のアイデアを取り入れてさらに改造したりと、時間いっぱいプログラミングを楽しんでいました。



### 有害図書等回収事業(白ポスト)

～子どもに見せたくない雑誌、ビデオ・DVDは「白ポスト」へ～

令和4年度回収点数  
1,531点(1月末現在)



地域・環境部会では、「家庭の日」推進事業、社会環境向上活動、緊急避難所「子ども安全守る家」事業、青少年健全育成標語塔事業の他、月に1回、水戸駅南口や赤塚駅南口など市内9箇所を設置された白ポストによる有害図書等の回収作業を行っています。子どもに見せたくない雑誌、ビデオ・DVDは「白ポスト」へ。

# 「家庭の日」絵画ポスターと作文コンクール

茨城県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として明るい家庭づくりを推進しており、水戸市青少年育成推進会議においても、家庭の大切さ、家庭の役割のすばらしさについて改めて考える「家庭の日」の普及啓発に取り組んでいます。その一環として、「家庭の日」に家族で過ごした思い出や、こんな過ごし方をしたいという希望などを題材に、夏休み期間中に絵画や作文を募集しました。1,787点の作品が集まり、審査の結果、下記のとおり入賞者が決定し、11月26日に表彰式を開催しました。なお、8ページに絵画・ポスターの部の会長賞受賞作品を掲載しておりますので、ご覧ください。

## 入賞者一覧 (敬称略)

### 絵画・ポスターの部

#### 👑 会長賞

古屋 李 空  
加藤 歩 昂  
本多 夏 鈴  
邊見 環

#### 👑 教育長賞

高倉 鉄 二  
大部 陽七海  
新井 楓 麻  
富田 琉 愛

#### 👑 奨励賞

川上 逢 稀  
田中 陽 莉  
宮本 陽 菜  
吉原 優 花

### 作文の部

#### 👑 会長賞

宇留野 心 海  
平戸 優 実  
蓮見 心 優

#### 👑 教育長賞

戸田 円 香  
蘭部 真 依  
橘川 葵

#### 👑 奨励賞

福井 志 帆  
舛井 夢 姫  
江戸 駿



〔絵画・ポスター部門〕幼児の部、小学生低学年の部



〔絵画・ポスター部門〕小学生高学年の部、中学生の部



〔作文部門〕小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部



イオンモール水戸内原にて展示(令和4年11月24日～11月30日)

## 君もサブリーダーになろう!

### 水戸市サブリーダーズ会とは…

水戸市に在住又は市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体です。

水戸市教育委員会の指導のもと、様々な団体や市などの事業の運営補助を行ったり、会員自ら事業の企画・準備・運営を行ったりしています。

これからの時代、予測不能な社会の変化に対して、他者と協働して課題を解決する力や新たな価値を創造する力を身に付けて、様々な変化に柔軟に対応できる人材を目指しています。

### 新会員募集

入会を希望する方は、入会申込書(水戸市ホームページよりダウンロードできます。)をご記入の上、水戸市役所生涯学習課までご持参ください。水戸市に在住又は市内の高等学校に通う高校生なら誰でも入会できます。

年会費/350円  
申込み・問合せ/

生涯学習課  
(029-306-8692)



水戸市  
サブリーダーズ会  
公式HP



水戸市  
サブリーダーズ会  
Twitter

# 千波中学校区

## 「ふたご座流星群を観る会」

千波中学校区の地域・環境部会では、例年「冬の星を観る会」を千波小学校で行い、月や金星などを望遠鏡で観察したり、ミニシアターの企画を行ったりしています。天候に左右される企画で、雨で中止になることも度々ありますが、子どもたちに人気の企画になっており試行錯誤しながら続けています。

今回は、コロナ流行の前でしたので、雨模様でもできるプラネタリウムを企画し、子どもたちには勿論大人にも好評でした。今回3年ぶりの開催となりましたが、小中学校の先生方のご協力を頂きながら「ふたご座流星群を観る会」を千波中学校にて行いました。



テレビ画面には現在の天体の様子が映しだされ、理科担当の先生による「ふたご座流星群について」の解説があり、その後BGMが流れる中、親子で参加した沢山の小学生、中学生は夜空を見上げながら流れ星を今か今かと待っていました。

「願い事を3回唱えると願いが叶う」と先生に教えてもらい、ワクワクしながら待っていました。突然の流れ星に「あー」との声しか聞こえず、その後もあちらこちらから「みえたー」「流れ星！」との声が聞こえてきました。

参加した子どもたちから、「綺麗な星を観られてよかった。」「流れ星を観られて一生の思い出になった。」との声を聞いた事で、先生方や部員の方々の苦労も報われました。

今年は、温かい飲み物も種類豊富に取り揃え、子どもたちも迷うぐらいの数を準備したので、寒さの中でも温かい飲み物を口にしながらキラキラ輝いている星を観て星座の話をしたり、流れ星を観たり、素敵な空間を沢山の方と共有でき幸せな時間でした。

## うちの子どもとほり子<sup>®</sup>

### 親の成長



私が、日々、相談の仕事をしていると、お母さんたちは「うちの子は周りの子ができることができないんです。」とおっしゃられます。そうすると私は、「うーん。周りの子って？どのくらいの割合かしら？そもそも、今の月齢にあつていれば心配ないんじゃないかしら？」頭の中で考えこんでしまいます。

その一方で、母親である私は「たしかに9割の子ができてたり、仲良しの○○ちゃんができてたりしたら、心配よね。」と共感してしまいます。その次に、お母さんたちの口から出てくるのは、「私がきちんと注意してもやってくれないんです。○○をこうしなさいといつてもやらないんです。なんでだめなんでしょうかねえ。」です。

そうすると私は、「お母さんなりに対応してるんだけど、やり方への具体的なアドバイスの仕事や関わり方はどうなんだろう？」と頭で考え、一方で「うーむ。でも、いくら子育て頑張っても、たしかに指摘されちゃうのもお母さんだものね。」とまたまた、母親として共感してしまいます。

なかには、じっくりお母さんの話をきいていると、自身の苦労やお子さんへの心配を話し、泣き出してしまいう方もいます。「お母さん頑張っていますもんね。でも誰にも話せずにはいたんですね。」と声をかけると「そんなんです。」と泣いて最後には「すっきりしました。」と笑顔で帰っていかれます。

子育てって本当に大変です。人が行う当たり前のことですが、親が子どものために、行っても、子どもはなかなかいうことをきかないこともあります。親としてゆとりがあれば、おおらかに対応できることも、ゆとりがないと時として、頑張っていることが空回りになることもしばしば生じます。

私自身の子育てについても、恥ずかしなが

ら失敗ばかりです。

頭では、「他人の子とは比べない。比べるのは、昨日の息子と今日の息子。」そうわかっているはずなのに、ついつい、周りや比べたり、子どものためを思って言ったつもりが、結果空回りだったりすることも多々あります。先日、家事をしながら息子に「○○したのかしら？」「○○はちゃんとできた？」と矢継ぎ早にきいていたら、息子から一言。「ママってほくの話ちゃんときいてくれてないよね！」と指摘をされてしまいました。内心ぎくつとして、「ごめんね。ちゃんと話さねえ！」と、私は慌てて家事を投げだして、「ブルに座り話をききました。そして、『そうだった。一番、私の子育てをみているのは息子だった。』と反省しました。」

子育てって親が必死で子どもを育てているようで、親自身も子どもに育ててもらっているのだと実感したエピソードでした。よく子どもは親の鏡というけれど、親として社会できちんとしなければならぬという意味ばかりを考えておりましたが、親の子どもに対する態度は、おのずと自分に返ってくるものなのかもしれません。

最後に、お父さんお母さんたちに一言お伝えします。

お父さんお母さんたちの頑張りが空回りにならないように、時にはゆとりゆとりして、お子さんとつと遊びましょう。そして、お子さんを誰かと比べるのではなく、いつも一番の味方（理解者）になってあげましょう。親が味方でいてくれれば、どんなことだって頑張つて乗り越えていけるはずですよ。

私もまだまだ親として成長中です。子育てを楽しんで、子どもと一緒に成長していきましょう。

（水戸市教育委員会と好文カレッジ

家庭教育支援員 前田 真由美 記）

# 『第7回水戸黄門漫遊マラソン』体験記

第5回は中止、第6回はオンライン開催ということ、3年ぶりに通常開催となった水戸黄門漫遊マラソンを走りました。

国内で開催される100以上のフルマラソン大会の中で、ポータルサイトRUNNETのランナー口コミランキングは2022年6位、公認コースの大会です。

水戸市青少年育成推進会議は次のように関わっています。会長が大会役員を務め、有志の「ランナー応援隊」が国土交通省前交差点付近で推進会議ジャンパーを着用し、旗を振って応援しています。

自身としては、第1回大会で背中のゼッケンの下にパウチした「水戸市青少年育成推進会議」の紙をぶら下げて走りました。第2回大会では、関門を突破できず途中でリタイアのためメダル無しで悔しかった記憶があります。今回は、荷物預け着替え場



所の快適さ、エイド(水、スポーツドリンク、フード)の充実、学生さんや施設の方の応援、大勢の青いジャンパーのスタッフさんのホスピタリティ、トイレ、ペースランナー、参加者のマナー等、よい点は継承され、反省点は改善された素晴らしい大会だと思えました。

走った後、水戸駅近くのお店で食事をし、東京や関西のランナーと話をしました。「沿道の、特に学生さんの応援には、涙が出そうだった。公認コースだから(同日開催の)横浜マラソンじゃなくて水戸を走った。茨城の大会は重要なので、これからも継続して欲しい。」と言っていました。(齋藤直哉)



写真は左から第1回、第3回、第4回、第6回、今回の完走メダル。

## 青少年育成推進会議 運営に御協力を!

会員、賛助会員及び町内会長の皆様にご感謝申し上げます。賛助会員の一層のご加入をお願いいたします。

### 青少年育成推進会議の活動資金

会費:1世帯150円のうち50円を推進会議本部へ100円を地区青少年育成会へ  
賛助会費:個人1口 1,000円  
団体・法人1口5,000円  
(振込先) 常陽銀行 水戸市役所支店  
普通預金 6120655  
水戸市青少年育成推進会議  
会長 坪 哲男

本会は、青少年の健全育成のために様々な事業を展開しています。本会の各事業を担う活動資金の多くは、会費及び賛助会費により賄われています。各地区の町内会長の皆様にご協力をお願いしていることに厚くお礼申し上げます。近年、賛助会員の加入は減少傾向にあります。本会の趣旨を更にご理解頂き、より多くの皆様のご加入をお願いいたします。会費は、振り込みまたは生涯学習課までご持参下さい。

- 法人・団体の部
  - 水戸ブロッック
  - 明るい社会づくりの会
  - 水戸市スポーツ協会
  - 水戸東ライオンズクラブ
  - 水戸南ライオンズクラブ
  - 茨城県信用組合
  - 水戸ロータリークラブ
  - 水戸西ロータリークラブ
  - 水戸南ロータリークラブ
  - 有限会社 森田商事
  - 水戸さくらロータリークラブ
  - 水戸東ロータリークラブ
  - 中央労働金庫
  - 水戸西ライオンズクラブ
  - 株式会社 吉田石油
  - 高島通信電設 株式会社
  - 水戸更生保護女性会
  - 国際ソロプチミスト水戸

- 個人の部
  - 野村 眞
  - 綿引 成
  - 金成 滋
  - 林中山 正
  - 谷中 正
  - 関田 慶
  - 吉口 憲
  - 吉田 久
  - 関山 仁
  - 林中山 正
  - 由香里 実
  - 野村 眞
  - 綿引 成
  - 金成 滋
  - 林中山 正
  - 谷中 正
  - 関田 慶
  - 吉口 憲
  - 吉田 久
  - 関山 仁
  - 林中山 正
  - 由香里 実

## 令和4年度の賛助会員の方々を掲載させていただきます(敬称略・順不同)

## “子どもの緊急避難所” こどもの安全を守る家に 登録しませんか

▼「こどもの安全を守る家」は緊急時に子どもを保護してくれる避難所です



こまったときは  
このかんばんの家に  
かけこもう!

水戸市・水戸市教育委員会  
水戸市青少年育成推進会議  
水戸警察署

こんなときに  
たすけてくれるよ



かわいひとに  
おいかけられたとき



ケガをしたとき



あまやどりたいとき



トイレをかりたいとき



がっこうのかえりに  
さがしてみよう!

水戸市青少年育成推進会議 ☎029-306-8692  
(水戸市教育委員会事務局教育民生課管理内)

本推進会議の地域・環境部会が各地区青少年育成会の取り組みを支援しています。

### 問い合わせ先

### 水戸市生涯学習課

TEL 029-306-8692(直通)

FAX 029-306-8693

Eメール:

seisyounen@city.mito.lg.jp





▲「ぼくのかぞくをしょうかいします」 常磐小学校 2年 加藤 歩昂

5ページに「家庭の日」絵画ポスターと作文コンクールの概要を掲載しています。



▲「かぞくでどうぶつえん」 緑岡幼稚園 古屋 李空



▲「おじいちゃんと私のたんじょう日」 常磐小学校 4年 本多 夏鈴



▲「みんなとキャンプ」 第一中学校 2年 邊見 環

## 中学生の主張を聴いて 一緒に考えてみませんか 第37回水戸市少年の主張大会

水戸市公式 YouTube チャンネルにて **音声** を発信しています！



令和4年 **公開中**

←QRコードを読み込んで聴いてみよう！  
<https://www.city.mito.lg.jp/site/education/30841.html>

※動画(音声)は予告なく終了させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

20校37名の発表が聴けるよ！



水戸市では、市内の中学生が日頃感じたことや考えていることを主張文にまとめ、発表する「水戸市少年の主張大会」を毎年開催しています。大会をとおして、中学生が、社会に対する関心を高めるとともに、現在どのような問題と向き合い、どのような意見を抱いているのかについて、社会全体で共に考える機会を得ることを目的としています。この度、第37回(令和4年度)水戸市少年の主張大会の優秀賞・佳作受賞者による主張文の発表音声を公開しますので、ぜひお聴きください。

## 「家族のコミュニケーションはすべての教育の出発点 ～子どもと向き合おう！～」

水戸市公式  
YouTube  
チャンネル



▲中学生用



家庭教育リーフレット

動画版も  
あります



▲小学生用



石野 奈緒美(育成者)  
白石 力(育成者)  
本郷 きぬ子(育成者)  
綿引 浩五(飯富)  
相羽 晴子(中)  
戸崎 紀子(国)  
芝間 聡子(緑)  
小柴 子子(見)  
中村 典子(笠)  
大はづき(常)  
高智 一美(内)  
井川 原澄

編集委員 (○委員長)

古人は、冬至の日から一日毎に紙に描いた九弁の梅九輪の花びら一枚一枚に色を入れ春の訪れを待ったという。数えて八十一日が九九消寒日にあたる。本紙70号がお手元に届くころである。今年度も新型コロナ変異株の流行に学校や地域の行事が影響を受けた。しかし、工夫した取り組みも見られウィズコロナにむけて歩み始めた。この状況下だからこそできる子どもたちへのかかわり方や青少年の育成のヒントとなる会報紙づくりに今後とも努めたい。(C・S)

編集後記